

キタ！からきた

だより

第180号

※支部活動に関するご質問・ご要望や、事例検討会、一泊研修他、申し込みについては、以下のメールアドレスにご連絡下さい。

kitasibu2012@yahoo.co.jp 大阪北支部宛



「こんなところに社会福祉士がいた！」

<大阪北支部・会員リレー紹介 061>

レポーター（岡 由紀子）



大阪北支部の広報委員をされている和泉美和子さんをご紹介します。

医療法人の居宅介護支援事業所で主任ケアマネジャーとして勤務されています。お身内に身体が不自由な方がおられたので介護の仕事に興味を持たれ働き始められました。実務経験で介護福祉士の国試を受け合格し、子育てをしながらケアマネジャーの資格も取られました。様々な分野の事を知りたいと思われ、社会福祉士受験養成校卒業後に社会福祉士に合格されました。勉強していく中では更生保護や成年後見制度は理解するのに苦労されたとのこと。「人とモノ、人と人、モノとモノを繋げる事がしたい」との高い目的意識を持っておられ、社会福祉士としての枠にとらわれない繋がり作りを目指しておられます。地元の自治会が主催する食堂(年齢にかかわらずボーダーレスな場所)の運営ボランティア活動をされていて今後は防災部作りに意欲を持たれています。



趣味活動としては着付けの師範の免状を持っておられ、スキル向上の為に勉強ももちろん車イスユーザーの為に福祉着付けの勉強も目指しておられます。そして去年はアロマセラピー1級の資格も取得され…どこまで行くねん！和泉さん！って思うことしばしば…いつ話を聞いても次なる目的意識を絶えず持ち続けておられる☆キラキラ☆女子です。

そんな和泉さんからは「大阪北支部にはいろんな分野の会員さんがおられ、相談もしやすいし和気あいあいと活動していますので、ぜひ参加してみてください！」というメッセージも頂きました。お忙しい中ありがとうございました！



大阪北支部『司法福祉研修』のお知らせ



大阪北支部では今年度、「出会う壁からつなぐ橋へ～福祉と司法が手をとる場所で～」をテーマに、司法福祉について全3回の研修を企画しました。現在、矯正施設には、社会的孤立や生活困難など複雑な事情を抱え、社会とのつながりを失いかけている方たちが多くいます。そのような背景の中で、刑期を終えて地域に戻るとき、私たち福祉職がどのようにその歩みに寄り添い、支援の“バトン”を受け取っていけるか——そこに今、大きな役割が求められています。

今年6月から新たに始まる拘禁刑や、再犯防止に向けた取り組みなど、司法の制度も少しずつ変化してきています。この研修では、矯正施設での福祉的支援の可能性や福祉職としてどのように支援のバトンを受け取りつないでいき、制度の「壁」に立ち尽くすのではなく、「つなぐ橋」をかける実践を、一緒に学ぶ機会になればと考えています。司法の領域が遠く感じる方にも、今の支援の延長線上に司法福祉があることを、そっとお伝えできるような内容をめざしています。日々さまざまな立場で実践されているみなさんに、ぜひご参加いただければと思います。ともに考え、ともに歩む時間となりますように、心よりお待ちしております。

第1回 9月23日(火・祝)「再犯防止と矯正施設の現状」

第2回 11月3日(月・祝)「矯正施設における社会復帰支援及び地域生活定着支援センターの役割」

第3回 12月9日(火)「大阪刑務所施設見学予定」



★大阪北支部公式LINEアカウントのお知らせ (※他支部の方の登録也大歓迎です!!)

情報が早い！情報が手元に届く支部公式LINE。目標としていた200名の登録を突破しました！

LINE「友だち追加」から、ID検索「@712abvel」するかQRコードをスキャンしてください。

